

KPIの進捗状況について（観光分野）

本資料は、「日本再興戦略」及び「『日本再興戦略』改訂2014」（以下「戦略」という。）に掲げられたKPIの進捗状況について、現時点において、下記の方法により、内閣官房日本経済再生総合事務局でまとめたものである。

- 「KPI」の欄は、戦略の中短期工程表に掲げられたKPIを記載。
 - 「主担当省庁」の欄は、施策群ごとに設定されたKPIの実現に特に関わる省庁名等を記載。
 - 「KPIの出典」の欄は、KPIの数値の根拠となる統計名、調査名等を記載。
 - 「最新の数値」の欄は、KPIの最新の数値を、時期（カッコ書き）とともに記載。
 - 「KPIの進捗」の欄は、以下の区分により内閣官房日本経済再生総合事務局において整理。
 - A：目標達成期間に対する経過期間の割合以上に、KPIが目標達成に向けて進捗しているもの
 - B：AほどKPIが進捗していないもの
- F：施策の実行自体がKPIとなっており、年度ごと施策の実施状況を確認するもの
（KPIの例）遅くとも2020年を目途に電力システム改革を完了する。
 - N：今後、データが得られるため、現時点で評価困難なもの（今後、データが得られ次第評価を行う）
- 「KPIの進捗の詳細」の欄は、「KPIの進捗」の評価の理由等を記載。

世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現
施策群：訪日プロモーションに関する省庁・関係機関の横断的計画策定と実行 ビザ発給要件緩和、入国審査迅速化等の訪日環境の改善 外国人旅行者の滞在環境の改善 新たなツーリズムの創出

整理 No.	KPI	最新の数値	KPI の進捗	KPI の進捗の詳細	KPI の出典	主担当省庁
103	・2013 年に訪日外国人旅行者数 1,000 万人を達成し (⇒達成)、さらに 2020 年に向けて、2,000 万人の高みを目指すとともに、2030 年には 3,000 万人を超えることを目指す。	10,363,904 人 (2013 年確定値) 9,737,300 人 (2014 年 1 月～9 月推計値)	A	<p>目標達成時期が 2020 年で、目標達成期間が 7 年であるところ、「最新の数値」の時点で 0.8 年が経過。</p> <p>訪日外国人旅行者数は 2014 年 1 月～9 月で 974 万人となっており、「2020 年 2,000 万人」という KPI 達成に向けたベース (1 月～9 月で 881 万人) を上回った。</p>	日本政府観光局 「訪日外客数統計」	国土交通省 観光庁
104	・2030 年には観光収入でアジアのトップクラス入りを目指す。	アジアで 8 位 14,934 百万米ドル (2013 年暫定値)	A	<p>目標達成時期が 2030 年で、目標達成期間が 19 年であるところ、「最新の数値」の時点で 2 年が経過。</p> <p>観光収入のアジアでの順位は 10 位から 8 位へと上昇している。</p>	UNWTO 「Tourism Highlights」	国土交通省 観光庁
105	・2030 年には宿泊客のおよそ 6 人に 1 人は外国人となる社会を目指す。	宿泊客の約 14 人に 1 人が外国人。※延べ宿泊客数、2013 年の確定値	A	<p>目標達成時期が 2030 年で、目標達成期間が 19 年であるところ、「最新の数値」の時点で 2 年が経過。</p> <p>宿泊客に占める外国人の割合は「約 23 人に 1 人」から「約 14 人に 1 人」まで増加しており、「約 6 人に 1 人」という KPI 達成に向けたベース (「約 18 人に 1 人」) を上回った。</p>	観光庁「宿泊旅行統計調査」	国土交通省 観光庁

世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現
施策群：国際会議等（MICE）誘致体制の構築・強化

整理 No.	KPI	最新の数値	KPI の進捗	KPI の進捗の詳細	KPI の出典	主担当省庁
106	・2030年にはアジア No.1 の国際会議開催国として不動の地位を築く。	国際会議開催件数(世界第7位、アジア第1位) 342 件 (2013年確定値)	A	2013年時点においてもアジア1位を維持している	ICCA (国際会議協会) 「ICCA Statistics Report」	国土交通省 観光庁